



## 理工学部 建築環境デザインコース学生が 鹿島市肥前七浦駅を活かす「エンガワエキ」を提案，研究成果を発表

### 【概要】

理工学部建築環境デザインコース 4 年生の森 敦宏 さんと土田 虎太郎 さんが，佐賀県鹿島市 JR 長崎本線に残る歴史的建物である肥前七浦駅舎を活用し，街の活性化につながる「エンガワエキ」の卒業制作を行いました。彼らは，肥前七浦駅で集まった地元住民の方々の前で研究発表を行いました。

### 【本文】

理工学部建築環境デザインコース 4 年生で保全再生デザイン学を学ぶ，森 敦宏 さんと土田 光太郎 さん（指導教員：三島 伸雄 教授，淵上 貴由樹 助教）が，JR 長崎本線肥前七浦駅およびその周辺整備をテーマとした卒業制作を行い，2023 年 11 月 26 日（日）に肥前七浦駅に集まった地元住民の方々の前で研究発表を行いました。

森さんと土田さんの提案は，昭和 8 年に建築されて今も地域の方々に大切にされている肥前七浦駅を保存改修，トイレやカフェを増築するとともに，駅前の高低差を活かした縁側のベンチ空間をつくって駅前の建物と一体感のあるスペースをつくり，駅の歩道橋を通じた展望台を駐車場側につくって周囲の山々や有明海への眺望を楽しめるようにし，地域活性化につなげていく「エンガワエキ」としていくものです。

約 20 名の地元住民の方々の前で堂々と発表し，住民の方々からは，「展望台の発想は斬新で，周囲を活かした素晴らしい提案だ」，「高低差があることによく気づいていて，これが実現したら色んなイベントができそうだ」，「肥前七浦駅を活かす会に入ってもらって一緒に盛り上げていきましょう！」など，大きな反響がありました。

森さんと土田さんは，さらに，佐賀県で進行中の駅前トイレの計画について情報を入手し，その整合性について検討を進める予定です。特に森さんは佐賀県出身であり，大学院進学を通じてこの計画をさらに発展させ，地域に貢献したいと意気込んでいます。

彼らの研究成果は，佐賀大学地域みらい創生プロジェクト（鹿島プログラム）の一環として進められ，今後地域の活性化につながっていくことが期待されています。

なお，この発表の様子は，2023 年 12 月 13 日（水）の読売新聞朝刊で大きく取り上げられました。



2023年11月26日 肥前七浦駅にて 発表する森敦宏さん



2023年11月26日 肥前七浦駅にて 地元住民との集合写真